令和8年度
第2回定例記者会見

令和8年8月25日(火)
午前10時30分

令和8年9月定例会付議予定議案

資料1

招集日　令和8年8月28日(金)

議　案　19件
- 教育委員会委員任命の同意(1)、
- 固定資産評価審査委員会員選任の同意(1)、
- 補正予算(3)、条例(6)、決算認定等(7)、その他(1)

報　告　1件
- 継続費精算報告(1)

令和8年度　行田市一般会計補正予算(第3回)について

補正予算の概要

(1)補正予算額　**1億2,958万5千円**

＜一般会計　補正後累計　327億3,626万1千円＞

(2)主な事業

拡充	クビアカツヤカミキリ対策事業	事業費：1,761万円	担当課：環境課
新規	路面下空洞調査事業	事業費：430万円	担当課：道路治水課
拡充	老朽空き家等解体補助事業	事業費：300万円	担当課：建築開発課
新規	日本遺産ストーリーを伝えるコンテンツ造成事業	事業費：1,831万円	担当課：商工観光課

クビアカツヤカミキリ対策を前倒し実施

資料2

令和7～9年度に集中対策を実施

3年間で820本の被害樹木を伐採予定

市では、令和7年度から3年間をクビアカツヤカミキリの集中対策強化期間と位置づけてクビアカツヤカミキリ対策を実施している。
埼玉県の6月議会補正予算での対策強化を受け、市独自の取り組みとして被害樹木の伐採等を前倒しで実施する。

補正予算額　1,761万4千円
（補正予算後対策額　6,657万8千円）

＜財源＞
県補助金　1,370万5千円
市一般財源　390万9千円
※埼玉県は、令和8年度の対策強化策として補助上限（1,000万円）を撤廃。

前倒しの背景

・平成29年7月に市内で初めて成虫が発見されて以降、対策を講じてきたが、**市が管理する桜約2,000本のうち、深刻な被害を受けている桜が約6割**
・現在、市内各所で枯死した桜が散見される

成虫捕殺に対する奨励品交付事業

	件数	捕殺数	交付額
R3	62件	1,936匹	94,500円
R4	67件	3,970匹	195,500円
R5	123件	12,182匹	602,000円
計	252件	18,088匹	892,000円

伐採や薬剤防除への補助金交付事業

	件数	伐採数	薬剤防除	補助額
R6	52件	38本	94本	1,211,200円
R7	64件	64本	94本	1,428,000円
R8※	25件	12本	44本	441,100円
計	141本	114本	232本	3,080,300円

※令和8年8月20日時点

令和8年度の前倒しの内容

変更前計画

令和7年度（実績）	令和8年度	令和9年度
・伐採　246本	・伐採　298本	・伐採　276本
・薬剤防除　751本	・薬剤防除　814本	・薬剤防除　792本

【伐採の前倒し】　94本
　内訳：小中学校 26本、酒巻導水路 48本、市内公園 20本
【薬剤防除の追加】　3本
　内訳：VIVAぎょうだ 3本

変更後計画

令和7年度（実績）	令和8年度	令和9年度
・伐採　246本	・伐採　392本	・伐採　182本
・薬剤防除　751本	・薬剤防除　817本	・薬剤防除　795本

問い合わせ　環境経済部環境課　TEL048－556－9530

路面下空洞調査事業

資料3

概　　要

多角的な原因による道路陥没を未然に防ぎ、安全に通行できる道路インフラを実現するため路面下空洞調査を実施

補正予算額　430万円

事業の背景

令和7年1月に八潮市で発生した道路陥没事故を受け、同年3月に国土交通省が、**突然の道路陥没による交通寸断を未然に防ぐことで、地域の防災力向上と安全な交通基盤を確保すること**を目的に『**路面下空洞調査要領(※)**』を作成

※調査方法や基準など全体的な指針を明確化

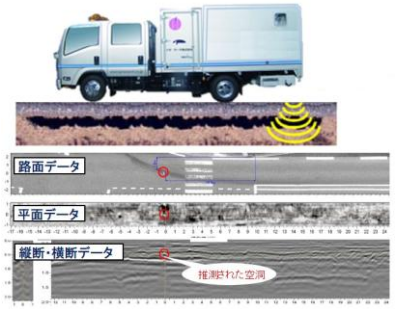
本市では、災害時の救急活動や物資輸送の命綱となる「**緊急輸送道路**」において『路面下空洞調査事業』を実施

※今後、市内主要幹線道路を順次調査予定

実 施 方 法

レーダーを搭載した空洞探査車を利用し掘らずに地下を可視化、疑わしい場所を再調査し、空洞の有無や規模を特定し補修

画像:国土交通省東北地方整備局東北技術事務所ホームページ(https://www.thr.mlit.go.jp/tougi/kensetsu/hozen/kudou.html)掲載画像を一部加工



対 象 路 線

市内の第2次緊急輸送道路(市が管理)　8路線　**2.7km**

路線名	区間	延長(km)
第7.1-2号線	長野2-30～長野4-29-41	0.4
第7.1-1号線	向町20-27～長野2-30	0.8
第6.1-7号線	大字持田566-1～大字持田375	0.4
第6.2-8号線	本丸2-5～本丸2-5	0.1
第7.3-418号線	長野5-8-1～長野5-9-1	0.2

路線名	区間	延長(km)
第5.2-8号線	長野(佐野行田線との交差点～長野	0.3
第5.1-10号線	長野～桜町2丁目	0.3
第5.3-387号線	桜町2丁目～長野(佐野行田線との交差点)	0.2

実 施 時 期

令和8年12月頃(予定)

問い合わせ

建設部道路治水課　TEL048－550－1553

老朽空き家等解体補助事業

資料4

概　　要

危険な状態にある老朽空き家等の解体工事に要する費用の一部を補助し、解体を促進することで、周辺住民の安全確保や防災・防犯、住環境・景観の改善を図るもの。

当初の見込みを上回る申請があったことから、今後の申請件数等を見込んで追加措置。

補正予算額：300万円
（10件分を想定）

事業の背景

・人口減少・高齢化などにより適正管理されていない老朽空き家が増加傾向
・倒壊、草木の繁茂や犯罪誘発などの周辺環境への悪影響が懸念される
・解体費用が高額なため、所有者が解体に踏み切れないケースが多い

今年度の補助実績（8月13日時点）

・補助申請件数（事前相談含む）	15件
・予　算　額	450万円
・補助予定額	450万円



（注）イメージ写真

＜制度概要＞

●**対象**　1年以上使用されていない老朽空き家
●**対象者の要件**
　老朽空き家の所有者又は相続人で
　市税の滞納がないこと
●**補助対象工事**　老朽空き家の解体
●**補助金額**　工事費の1/2以内（上限30万円）

【過去5年の補助実績】

年度	R3	R4	R5	R6	R7
件数	7	8	12	15	19
補助総額	265万円	209万円	338万円	411万円	570万円

問い合わせ　都市整備部建築開発課　TEL048－550－1551

日本遺産ストーリーを伝えるコンテンツ造成事業

資料5

行田版日本遺産ツーリズム促進環境整備事業

文化庁の委託事業「日本遺産を活用した魅力ある地域づくり推進モデル事業」を受け、行田版日本遺産ツーリズム促進環境整備事業を実施

補正予算額　1,830 万 8 千円

実施体制

商工観光課
（一社）行田おもてなし観光局
行田市教育委員会文化財保護課

×

専門家　旅行会社　イベント会社
日本遺産普及協会　関係機関

事業内容

文化庁が選定した専門的スキルを持つ人材のコーチングを受け、次の事業を実施

①ストーリーの整理と情報発信

・旅行者のニーズに合ったストーリーの魅せ方を整理
・整理したストーリーの内容を基にパンフレットや動画を制作
・専門家を招聘し、本市学芸員と意見交換をしながらストーリーの魅力を発信

②体験型ツアーコンテンツの造成

・整理したストーリーの内容と地域資源を基に、関係者やコーチと協議を繰り返し、流行をキャッチしながら、ツアーコンテンツを造成
・造成したツアーをオンラインサイトにて試験販売
・旅行会社のエージェントにモニターツアーを実施

③他地域連携事業

・近隣の日本遺産の認定地域と連携し、「日本遺産マルシェ in 忍城」を開催
・旅行会社のバイヤーに広域の周遊プランなどを提案
・伝統文化などの繋がりを整理し、他地域との連携を深め、相乗効果による情報発信を実施

問い合わせ　環境経済部商工観光課　TEL　048-556-1111(内線5403)

足袋の日イベント『行田足袋博覧会（GYODA TABI EXPO）』

資料6

10月8日の「足袋の日」にちなんだ産地イベントとして市内で"初"の開催

※経済産業省「令和8年度伝統的工芸品産業支援補助金」補助事業

主　　催　行田足袋組合（市内足袋事業者6者からなる団体）、行田市

開催期間　10月3日（土）から10月12日（月）までの10日間

イベント　行田足袋に関連する企画を市内各地（日本遺産構成文化財等）で実施

（オリジナルロゴ）

開催日	内容	実施場所
10/3（土）	展示会＆交流会『足袋博 −Creators Market-』	牧禎舎
	トークイベント『GYODA TABI MEETING』	
	100年フード「ゼリーフライ」を作ろう！！	海賊酒場ザンビーニ
10/10（土）	日本遺産ソムリエと行く、日本遺産まち歩きin行田	行田市商工センター前に集合
10/3（土）～10/12（月）	足袋着用体験『足袋博deたびはく』	観光物産館「ぶらっと♪ぎょうだ」
	足袋蔵のまち/日本遺産デジタルスタンプラリー	市内（構成文化財等）
	カインズ行田店でのPR展示	カインズ行田店
店舗営業中のみ	足袋蔵上映会	牧野本店店蔵（日々新た）
未定	足袋工場オープンファクトリー（工場見学）	イサミコーポレーション足袋工場、他

問い合わせ　環境経済部商工観光課　TEL 048-556-1111（内線5404）

行田花手水タウン特別企画2026

資料7

開　催　日　令和8年10月3日(土)、11月7日(土)、12月5日(土)、12月12日(土)　他

開 催 場 所　忍城址、行田八幡神社、前玉神社　ほか

希　望　の　光

花手水ライトアップイベント。
メイン会場となる忍城址、行田八幡神社、前玉神社では、花手水と会場内を幻想的な光で演出。
開催日:10月3日(土)、11月7日(土)、12月5日(土)



花手水人力車

「忍城～水城公園～行田八幡神社」を人力車で巡る。車夫との会話も楽しみながら、周遊する贅沢な旅。
開催日:10月3日(土)、11月7日(土)、12月5日(土)



忍城ニンジャ道場

忍者の構え、走り方などの修行をする忍者体験。
開催日:10月3日(土)



プロジェクションマッピング

毎年大人気のプロジェクションマッピング。
忍城をキャンバスに光と音の演出で、幻想的な世界へ導きます。
開催日: 11月7日(土)、12月5日(土)



イルミネーション・クリスマスマーケット

冬の周遊の新しいチャレンジとして、ヴェールカフェ周辺にイルミネーションを設置。
またイルミネーションに合わせてクリスマスマーケットを開催。
マーケット開催日:12月12日(土)
イルミネーション開催日:12月中



花　演　武

忍城おもてなし甲冑隊と仲間たちによる忍者ショー。
開催日: 12月5日(土)



主催:行田市、(一社)行田おもてなし観光局

問い合わせ　環境経済部商工観光課　TEL048-556-1111(内線5403)

行田古墳フェスティバル

資料8

開 催 日 時　10月18日(日)午前10時～午後4時

開 催 場 所　さきたま古墳公園、 さきたまテラス周辺



ステージイベント

「古墳にコーフン協会」会長のまりこふんさん、行田観光大使の鳥居みゆきさんなどによるライブやトークショーの他、各種ステージイベントを開催



はにわコンテスト(新)

はにわの館で制作した「はにわ」を当日会場にて展示し、投票によって選ばれた作品を表彰するコンテストを初開催

熱気球体験

気球に乗って広大な埼玉古墳群を上から眺める

古代人体験(新)

お子様を対象に弓矢体験やはにわづくり体験に挑戦する古代人体験を初開催



シャボン玉ショー

幻想的な世界が広がるシャボン玉ショーを開催

その他

・古墳スタンプラリー
・古墳ガイドツアー
・キッチンカーやテント販売
・KOFUN de マルシェ
　など



ミニチュアホースふれあい体験

ミニチュアホースとの写真撮影やふれあい体験



主催:行田古墳フェスティバル実行委員会　後援:行田市、行田市教育委員会、埼玉県教育委員会

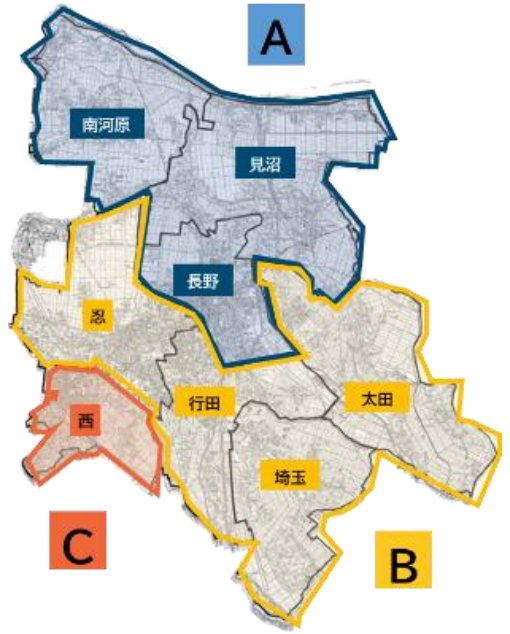
問い合わせ　行田古墳フェスティバル実行委員会(環境経済部商工観光課内)　TEL048-556-1111(内線5403)

行田市忍・行田・埼玉・太田中学校区義務教育学校（仮称）設置に向けた進捗状況

資料9

■令和16年度までに市立小・中学校**20校**を**3校**の義務教育学校に再編
■令和12年度：Bブロック開校予定、令和14年度：Aブロック開校予定、令和16年度：Cブロック開校予定

〈再編後の通学区域〉



【Bブロック新校開校に向けた目標スケジュール】

R8	R9	R10	R11	R12
基本構想	基本設計・測量調査等	実施設計・工事（基本設計先行型デザインビルド方式）		開校
		開校準備委員会		

令和8年4月策定



新校設置場所



新校の敷地を「教育文化センター『みらい』」南側に選定

用地取得に向けて取り組みを推進

【敷地選定理由】

- 敷地面積が広く、ゆとりある教育活動が実施可能
- 教育文化センター「みらい」内の市立図書館や文化ホールなどとの有機的な連携により、多様な教育活動が期待できる
- 幅員が大きな道路に接し、スクールバス運行時の安全性が確保できる
- 工事期間中における、教育活動に影響が出ない

問い合わせ 学校教育部教育総務課 TEL 048－556－8311

これからの学校づくりシンポジウム～先進自治体の取組から考えるこれからの学校づくり～

資料10

開催の目的

市内の小中学校を３校の義務教育学校に再編する取り組みを進めるに当たり、先進自治体の最前線で活躍されている方を講師としてお招きし、小中一貫教育の取り組み、実際の施設などを紹介していただくことで、市民により具体的なイメージを持ってもらい、学校づくりについてイメージを共有することを目的としている。

これからの学校づくりシンポジウム　概要

日　時

令和8年9月12日(土)
午後2時～午後3時30分

会　場

教育文化センター「みらい」ホール
（行田市佐間3－24－7）

内　容

①行田市の義務教育学校設置に向けた取組について
②基調講演「つくば市における学校づくりについて」
　発表者：柳下　英子　つくば市教育委員会副教育長
③対談「これからの学校づくりを考える」
　柳下　英子　つくば市教育委員会副教育長
　渡辺　　充　行田市教育委員会教育長

【略歴】つくば市副教育長 柳下 英子 氏

教諭時代を通じ、小学校1年生から中学校3年生までのあらゆる段階の児童生徒の指導を経験。校長時代には、日本新聞協会が認定するNIE(教育に新聞を)の実践を発信したり、科学大好き児童の育成や学校経営における論文をまとめ数々の賞を受賞したりするなど、特色ある学校経営を多数行う。

その豊かな経験と実績をもとに、つくば市学校長会会長として市内全50校（当時）の学校経営に携わり、学校間の連携強化と地域全体の教育水準の向上に貢献。令和7年からはつくば市副教育長に就任し、「一人ひとりが幸せな人生を送ること」を最上位目標とするつくば市教育大綱を学校現場に浸透させるべく、日々市内の学校を訪問しながら、最前線で教育推進に取り組んでいる。



問い合わせ　学校教育部教育総務課　TEL 048－556－8311、学校教育部教育指導課　TEL 048－556－8316